

地区版第16号

発行日：平成27年12月10日

たちばな会だより

発行者：社会福祉法人たちばな会
理事長 二橋 寛
住 所：浜松市浜北区於呂514
電 話：(053) 588-3214

今年も早いもので師走を迎えました。日頃はたちばな会へのご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。

障害のある方一人ひとりが住み慣れた地域や家庭で生き生きと暮らすためには、自己の成長と経済的自立を少しでも図りながら、社会と関わりを持って生活しているという自信と喜びが必要です。たちばな授産所やサンステップが利用者の皆さんに提供する障害福祉サービスの中核に作業を置いているのは、作業をすることによって、このことを利用者の皆さんに実感してもらえると信じているからであって、35年前にたちばな会が福祉事業を開始した当初から現在に至るまで、歴代の理事長、施設長によって受け継がれており、利用者・職員もよく理解していて信用を第一に作業に取り組んでいます。

施設利用者の経済的自立にはそれなりの工賃（給料）を得ることが必要と考えます。現実はなかなか厳しく、生産活動を行っている静岡県内の就労継続支援B型事業所（258か所）の平成26年度の工賃実績は、県平均で14,363円（1日の作業時間5時間、作業日は20日として）ですが、そんな中で、たちばな授産所やサンステップではその約倍の28,500円を支給できました。

このような実績を上げつつ、前回に紹介したような施設整備ができるのも、たちばな会後援会（会長=米田良正氏）の会員の皆様、地域住民の皆様や仕事を発注して下さる㈱日本ロック様をはじめとする企業の皆様の御理解、御協力のお蔭と心より感謝しております。本年度は、後援会からは、たちばな授産所の床貼替工事に100万円、新築となったグループホームいぶきの備品購入に50万円を寄付していただけることになっております。㈱日本ロック様においては、直近の過去3年間のたちばな会への発注額が約2,600万円以上という実績が評価され、10月に平成27年度の優先発注企業等の厚生労働大臣表彰を受賞（全国で10社）されました。

以上「たちばな会」をとりまく最近の状況をご報告いたしました。新しい年が皆様にとって輝かしい年となりますようお祈りいたします。
(施設長 山下敏明)



【塩崎厚労大臣と今回の厚生労働大臣表彰受賞企業の皆様】



【完成間近のグループホームいぶき】

行事の紹介

◆27年度後半の行事予定

<11月>

ふれあい広場

<12月>

障害者の日ー地域奉仕作業
もちつき大会、クリスマス会
大掃除、仕事納め、慰労会

<1月>

仕事始め、新年会、
成人を祝う会、いぶき竣工式

<2月>

豆まき、節分

<3月>

いちご狩り

地域の皆様に支えられて

【赤い羽根共同募金街頭募金】 (H27. 10. 6)



10月1日より全国一斉に赤い羽根共同募金運動が始まり、市民へのPRを主眼とした街頭での募金運動が10月6日にアピタ浜北店で実施されました。たちばな授産所、サンステップの職員、利用者も参加して募金への協力を呼びかけました。

【第19回 鉄板焼き大会】

(H27. 10. 10)

今年も㈱日本ロック様にご招待いただき第19回鉄板焼き大会に行ってきました。おいしいお肉や野菜をお腹一杯ご馳走になり、お楽しみ抽選会でプレゼントもいただき楽しいひと時となりました。大変な準備の中、笑顔で接して下さる社員の皆様に感謝です。



【慰安旅行】 (H27. 10. 15~16)

= たちばな授産所 = ~伊勢・志摩方面~

今年伊勢・志摩方面へ行ってきました。往路はフェリーで渡りお伊勢詣りへ、おかげ横丁散策が楽しかったです。2日目は、なばなの里・トヨタ産業技術博物館やコカコーラ東海工場の見学など、盛りだくさんな内容でした。



= サンステップ = ~福井に恐竜を訪ねて~

今年愛知県と福井県への旅です。長久手でジブリ大博覧会とトヨタ博物館を見学、トヨタ博物館では過去から未来の車の展示に皆さん興味深々でした。2日目の恐竜博物館では動く恐竜に出迎えられる驚きでした。映像や復元模型で見る恐竜の姿は迫力満点でした。



【スマイルフェスタ浜松】 (H27. 11. 3)

浜松駅前ソラモで行われたスマイルフェスタ浜松に出店。家康くん・しっぺいの祝儀袋とポップコーンの販売を行いました。商品の受渡しや呼び込みと利用者さんが大活躍でした。



【ふれあい広場】 (H27. 11. 8)

ふれあい広場に参加しました。お小遣いで思い思いの商品を購入し楽しみました。保護者会によるバザー、就労事業によるポップコーン・綿菓子等の販売は雨にも関わらず大盛況でした。

